

大船渡発

音の出る信号機を設置

IBCラジオ・チャリティミュージックソンに寄せられた募金により沿岸被災地に今年も音の出る信号機が設置されました。今年も宮古、釜石、大船渡の3か所に音の出る信号機が設置され運用が始まりました。このうち大船渡市では新たな商業施設がオープンし復興が進む街の中心として賑わう場所に設置されました。(5/26 ニュースエコー)



釜石発

ラグビーで被災地応援

世界最強のラグビーチーム、ニュージーランド代表・オールブラックスでプレーし、ワールドカップではキャプテンとしてチームを連覇に導いたリッチー・マコウ氏が被災地の子どもたちにエールを送りたいと釜石を訪れました。地元のラグビースクールの子どもたちとパスやタックルの練習をしたほか、再来年ラグビーワールドカップの試合会場となるスタジアムの建設現場にも立ち寄り被災地の復興と大会の成功を祈っていました。(5/27 ニュース)



陸前高田発

松原再生へ植樹会

津波で1本だけを残し7万本もの松林が壊滅した陸前高田市の「高田松原」を再生しようと植樹会が開かれました。全国からおおよそ400人が参加、クロマツの苗1250本が丁寧に植えられました。岩手県では再来年度までに4万本のマツを植える計画です(5/27 ニュース)



盛岡発

砂浜再生の可能性を探る

震災で砂浜を失った大槌町の浪板海岸と釜石の根浜海岸の再生が可能かどうかを探る検討委員会の初会合が盛岡で開かれました。委員会は土木工学や水産の研究者、県の担当者などがメンバーで来年2月を目途に検討結果を出す予定です。(5/29 ニュースエコー)



宮古発

実習船で炊き出し訓練

災害時を想定して、県の実習船「りあす丸」と「海翔」を利用した炊き出し訓練が行われました。参加したのは宮古水産高校食物科の2年生40人で2隻あわせて400食分のカレーライスを調理しました。ライフラインが寸断される大災害の時には調理場を備えた船は被災者の炊き出しに大きな役割を果たし、去年の台風10号発生時には実習船りあす丸が大船渡で避難していた人たちに100食分のおにぎりを提供しています。(5/29 ニュースエコー)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、5月31日に行われた陸前高田☆チャレンジデー2017について伝えてくれました。これは5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベントです。住民のほか市内にいる人は誰でも参加でき、15分以上継続して身体を動かし、その参加率を他の市町村と競います。これまでは9勝8敗で今年の対戦相手は神奈川県松田町。菅野さんは「市民の皆さんは健康な身体づくりへの関心が高いです。ぜひ10勝目を挙げたい」と話していました。(5/31)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122